

科目名	言語表現研究Ⅱ－１（前期）		科目コード	1313	
開講学科	文芸学科	単位数	2	形態	演習
教員名	藪葉子、団野恵美子				
授業の目的及びテーマ					
文学はもとより、演劇、映像、美術などについて、言語表現を用いて読み解くことを目的とする。					
授業概要					
<p>芸術的なイメージの読解を言語表現によって行うことを主とする。スライドやビデオ、DVDを用いて、様々な芸術作品を紹介し、それらの作品の「記述」を出発点として、形式と内容の両面から考察を行い、作品の理解を深めた上で、受講生自身による作品の解釈と批評の実践を可能な限り試みてもらいたい。スクーリングには複数の講師が担当する。その場合、文芸、美術、音楽、演劇、映画などを取り挙げることになる。</p> <p>教科書教材となっている日本古典文学作品を取り上げ、その作品の伝承の在り方や作品の構成、文学作品を基とした美術品について解説する。また、授業内で小レポートを作成し、それについての合評を行うことで古典文学についての理解と関心を深めていく。</p> <p>第1回から第10回は藪が、第11回から第15回は団野が担当する。</p>					
授業計画					
<p>第1回：日本古典文学についての概説。</p> <p>第2回：古典文学の伝承について。</p> <p>第3回：教科書教材となっている古典文学作品について。</p> <p>第4回：古典の作り物語における構成について(1)。</p> <p>第5回：古典の作り物語における構成について(2)。</p> <p>第6回：古典文学の構成に関する小レポートの作成(1)。</p> <p>第7回：古典文学の構成に関する小レポートの作成(2)。</p> <p>第8回：レポートの合評。</p> <p>第9回：絵巻などの古典文学の美術作品について。</p> <p>第10回：日本古典文学についての討論。</p> <p>第11回：「ロミオとジュリエットにみる恋愛模様」シェイクスピアの劇作品における、登場人物の行動や恋愛を、台詞の言語表現から読み解く。</p> <p>第12回：シェイクスピアの言語表現を映像を用いて確認する。</p> <p>第13回：「イギリス貴族の暮らしーカントリーハウス」イギリス小説には欠かせない、貴族の屋敷とそこに暮らす人々について、部屋の種類や調度品、名称から読み解く。</p> <p>第14回：イギリスの屋敷を舞台にした小説や映画の紹介。</p> <p>第15回：恋愛・階級・社会をテーマに小説や劇を執筆してもらい、最後に合評を行う。</p>					
テキスト	使用しない。適宜プリントを用いる。	参考文献	なし		
評価方法：					
面接授業は受講態度、授業中提出物などにより総合的に評価する。					

科目名	言語表現研究Ⅱ－１（後期）		科目コード	1313	
開講学科	文芸学科	単位数	2	形態	演習
教員名	藪葉子、団野恵美子				
授業の目的及びテーマ					
文学はもとより、演劇、映像、美術などについて、言語表現を用いて読み解くことを目的とする。					
授業概要					
<p>芸術的なイメージの読解を言語表現によって行うことを主とする。スライドやビデオ、DVDを用いて、様々な芸術作品を紹介し、それらの作品の「記述」を出発点として、形式と内容の両面から考察を行い、作品の理解を深めた上で、受講生自身による作品の解釈と批評の実践を可能な限り試みてもらいたい。スクーリングには複数の講師が担当する。その場合、文芸、美術、音楽、演劇、映画などを取り挙げることになる。</p> <p>教科書教材となっている日本古典文学作品を取り上げ、その作品の伝承の在り方や作品の構成、文学作品を基とした美術品について解説する。また、授業内で小レポートを作成し、それについての合評を行うことで古典文学についての理解と関心を深めていく。</p> <p>第1回から第10回は藪が、第11回から第15回は団野が担当する。</p>					
授業計画					
<p>第1回：日本古典文学についての概説。</p> <p>第2回：古典文学の伝承について。</p> <p>第3回：教科書教材となっている古典文学作品について。</p> <p>第4回：古典の作り物語における構成について(1)。</p> <p>第5回：古典の作り物語における構成について(2)。</p> <p>第6回：古典文学の構成に関する小レポートの作成(1)。</p> <p>第7回：古典文学の構成に関する小レポートの作成(2)。</p> <p>第8回：レポートの合評。</p> <p>第9回：絵巻などの古典文学の美術作品について。</p> <p>第10回：日本古典文学についての討論。</p> <p>第11回：「イギリス人の暮らしと文化(1)」『不思議の国のアリス』や『ピーターラビット』など児童文学や、政治風刺漫画にも含まれるユーモアやジョークを取り上げ、イギリスの「笑い」について考察する。</p> <p>第12回：「イギリス人の暮らしと文化(2)」イギリス人の自虐ネタや現代映画から、笑い文化について考える。</p> <p>第13回：「アーサー王伝説(1)」騎士道精神についてアーサー王伝説のエピソードを用いて考える。</p> <p>第14回：「アーサー王伝説(2)」宮廷風恋愛や聖杯伝説など、有名なエピソードと現代文学のつながりを考える。</p> <p>第15回：笑い・騎士道・恋愛などをテーマに小説や劇を執筆してもらい、最後に合評を行う。</p>					
テキスト	なし。適宜プリントを配布。		参考文献	なし	
評価方法：					
面接授業は受講態度、授業中提出物などにより総合的に評価する。					